

# 家財の簡易評価

普段、何気なく購入している家財道具は、ひとつひとつ見直すと全て大切な財産！  
**さあ! ご家族みんなの家財道具を確認しましょう。**

- テレビ・冷蔵庫などの**家電製品**
- 食器棚や洋服ダンスなどの**家具**や**インテリア**
- 洋服**や**バッグ**
- パソコン**やオーディオ・CD・DVD
- 寝具**やスリッパ、**お皿1枚**まで
- ぜ～んぶ、大切な家財です!**

火災や水濡れ・盗難で、もう一度  
 買い替えると大変な経済的負担です。

本当は**800万円**の家財があるのに、**200万円**しか保険に入っていなかった…  
 といったことがないように確認しましょう!!



宅建ファミリーの  
 保険（住宅用）は再度  
 新しい家財道具を購入  
 する費用を補償します  
 （新価）

必要となる家財の補償額が  
 入居されているご家族の状況や専有面積  
 から確認できます。

[簡易評価額(新価)に基づく保険金額の目安]

独身世帯 ・ 単身世帯	家族構成		2名		3名		4名		夫婦以外の家族 一人当たりの金額	
	世帯主の 年齢	ご夫婦のみ	ご夫婦	ご夫婦	ご夫婦	ご夫婦	ご夫婦	子供1名 (18歳未満)	大人1名 (18歳以上)	
~30m <sup>2</sup>	部屋専有面積	~40m <sup>2</sup>	40m <sup>2</sup> ~60m <sup>2</sup>		60m <sup>2</sup> ~					
~300万円	27歳以下	500万円	600万円	700万円	700万円	800万円	800万円			
	28歳~32歳	700万円	800万円	900万円	900万円	1,000万円	1,000万円	80万円	130万円	
	33歳~	1,000万円								

〈家財の評価基準〉・宅建ファミリーの保険（住宅用）は、再調達価額（新価）基準の実損払いで保険金をお支払いいたします。  
 ・保険の対象である家財の評価額は、被保険者（保険の対象となる方）所有の家財を、今あらたに再度取得する場合に必要な金額です。  
 ・簡易評価表は、世帯主の年齢と家族構成または世帯主の年齢と部屋の専有面積から算出される、標準的な家財評価額の目安となります。必要に応じてプラスマイナス30%の範囲内で調整します。  
 ※ご注意：簡易評価額に「貴金属、宝玉・宝石ならびに書画、骨董、彫刻物その他の美術品」で一個または一組の価値が30万円を超える物（明記物件）の額は含まれていません。また、弊社は明記物件の引き受けは行いません。